# IT業界を志望されている理由についてご記載ください。(250)

## 本文

IT×機械を実現し，ハードウェアを最大限活用した提案でお客様の近くで課題を解決したいからです．私は機械系の分野を学んできましたが，ものづくりに関する知識のみではお客様の課題を直接解決することができません．お客様の課題を解決するためには，お客様の業務などを熟知している必要があるのはもちろんですが，課題を的確に捉えるという論理的思考も必要になります．また，ITの技術には必ずと言ってよいほど機械が関わっています．機械の知識を活用することによって，提案の幅が広がると考えています．より幅広く的確なソリューションを提案できるようになるためにも，ITによる課題解決の一連工程を経験してIT×機械の技術を身に着けていきたいと考えています．

## メモ

・多様なお客様に対して最適なサービス提供を行うために

・お客様の課題を発見し解決することに魅力を感じているからです。私は、相手が考えていることや欲していることに興味があり、また、それを想像し相手の話に耳を傾けることによって相手を支えて力になりたいと感じています。

・IT業界で働くことはシステムや製品を提供するだけでなく、それを利用する人々の生活や仕事をより良く変えることが実感できる仕事

# ITでどのようなことをしたいか、ご記載ください。(250)

## 本文

ITで実現したいことは，ロボットなどの動く機械とITをリンクさせて無人の店舗・工場を実現したいと考えています．現在，無人の店舗・工場は最先端の技術を有している企業などにしか導入されていません．また，最先端技術であるので導入にはかなりの費用がかかります．それらを機械系の知識を生かしてできるだけ費用を抑え，地域の小さな工場などにも導入したいと考えています． これらを実現するためには，ロボットなどを出来る限り最小限の構成で開発・組立てを行う必要があります．また，ロボットの知識だけではなく，それらのデータを集め，活用するためにネットワーク・サーバーの知識も必要となります．そのため，それらを両立させるべくIT業界において，知識を蓄えIT×機械のソリューションを提案できるよう尽力したいと考えています．

## メモ

* 自社のものだけでなく多くのITパートナーの技術や製品を組み合わせる力を活かして最適なソリューションを提案していきたい．
* ソフトウェアだけではなくハードウェアの知識を生かした提案で，お客様へ幅広い視野で課題解決に努めたい．
* 私は、相手が考えていることや欲していることに興味があり、また、それを想像したり相手の話に耳を傾けることによって相手を支えて力になりたいと感じています。
* 地域の不動産から業務効率化をしてほしいとお願いがあったが，先方も課題がかなり抽象的で私では課題の提案がうまくいかず案件が流れてしまった．
* 貴社においては，エンジニアが主役ということもありコンサルから保守まで幅広い業務で自身を成長させることができる．
* 御社ではロボティクスにも今後力を入れていくそうなので，共にIT×機械の提案をお客様に行いたい．
* 私は出身が岐阜市・現在は金沢市に住んでいますがどちらも都会ではありません．そんな地元ならではの零細企業はITを導入したいけど，誰に相談したら良いかも分からないといった状況です．やはり都会から離れれば離れるほどIT化は遅れ，最終的にはそこにある企業は衰退していきます．そうなると地域自体が衰退していきます．それらを私の手で救うためにIT業界を志望しています．

# あなたのキャリア像について、ご記載ください。(250)

## 本文

私の最終的な目標は，IT×機械で地域の課題を解決したいと考えています．そのためには，入社５年まではプログラマーとしてシステム開発における知識・経験を積んでいきたいと考えています．その間に今まで勉強してきた機械系の知識はもちりん，特にロボット制御・センシング技術について書籍で学んでいきます．入社５年後は，お客様にソリューションを提案できるよう上流工程に携わり，経験を積んでいきます．入社１０年後は，機械から取得したデータの活用・データから機械を制御する知識の専門として，システム開発をけん引したいと考えています．

## メモ

* 将来は地域活性化のために，零細企業の課題解決を行っていきたい．
* そのために，若いうちは成長するために裁量のある業務に携わりたい．
* 地域活性化のためには，人でしか出来ない仕事に人々が注力をする必要がある．
* そのために，機械に任せられる業務は我々が機械化する．
* IoTエンジニアになりたい→IoTエンジニアにはC言語・C++・Javaによる組み込み開発のプログラミングスキル、無線通信技術やセキュリティに関する知識・スキル、業界に応じたハードウェアの知識が求められます。
* 経営についても学んでいきたい．
* 15年後～20年後には，地元に支部を構えお客様の課題解決に努めたいと考えています．
* 5年後は，IT開発の基礎スキルを学び，お客様との対話を通して課題解決力を身に着ける．
* 5年～10年は，システムエンジニア、プロジェクトリーダーとして上流工程に携わる．